



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



巣立つ子の夢へ八幡の空は炎え 石橋 陸朗

先週までの寒さから一変して、一気に春の訪れが五感を通して伝わってくるようになりました。暦の上では、今週末、大地が暖かくなって、冬の間地中にいた虫が這い出てくるとされる「啓蟄」を迎えます。



さて、3月17日(木)に、本校第141回卒業証書授与式をとり行います。卒業生たちはこの一年間、「八幡小学校の顔」として全校児童を引っ張り、また後押ししてくれました。さまざまな制限の中でも元気に日々の学校生活に取り組むその姿が、学校全体のよい雰囲気づくりに大きな影響を与えたことは確かです。その巣立ちを、在校生や6年生保護者の皆様たちとともに温かい拍手で祝いたいと思います。

↓ 高炉台公園にある石碑

ところで、八幡のまちも熱い思いで子どもたちの巣立ちを祝っているように感じるこの句の作者は、製鐵所で働きながら川柳同人として活躍された方で、本校区にお住まいだったとのこと。ですから、お子さんも八幡小の卒業生だったのではないかと思います。八幡から溶鉱炉は消え、空は青く澄み渡るようになって、この句にある「子どもたちの成長を見守る八幡のまちの思い」は変わらないことでしょう。



感染対策を続けながら学年のまとめをしていきます

～ 「ゴール」に向けて ご家庭での協力をお願いします ～

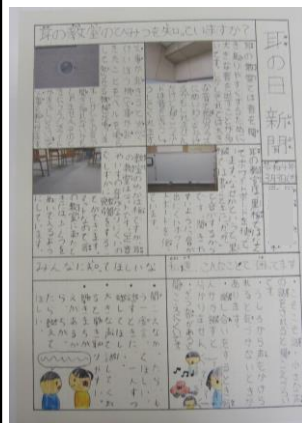
報道によると、福岡県のまん延防止等重点措置が解除される方向で動き出したようです。これに伴って、学校生活に関する対応も、措置以前にもどる可能性が高いです。しかし、「第6波」の特徴ともいえる小学生以下の子どもの感染はまだ多く、学級閉鎖をしたり、同一学級内で5人以上の陽性者判明によりPCR検査受検をしたりするケースもいくつかあります。ですから、「第5波」収束後の昨年10月～12月のような状況にはなっていないと言えます。



現在、学校では学年のまとめに取りかかっています。とくに6年生は「卒業証書授与式」に向けてがんばっています。しかし、来週以降の感染状況によっては、「式の延期」もあり得ます。また、陽性判明や濃厚接触のために欠席しなければならないこともあります。

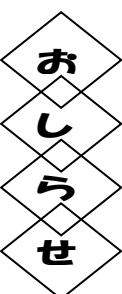
当然、他の学年も同様で、よい形で「ゴール」を迎えるために、学校では従来通りの感染対策を続けます。ご家庭の協力も欠かせません。よろしくお願いいたします。

3月3日は「耳の日」です



本校には「難聴特別支援学級」、通称「耳の教室」があります。そこで、例年交流学習をしている学級だけでなく、全校で「個々の聞こえ」の理解を深めるような指導を行っています。

本年度は、学級児童が作成した新聞をもとに、教室の設備や関わる際に気をつけてほしいことなどについて、各学級で伝えていく予定です。



- ☆ 来週7日(月)～11日(金)は、本年度最後の「家庭学習チャレンジ週間」です。今回は、下校時間が変更になります。新年度に向けて学習の振り返りをしたり、普段取り組めない学習にチャレンジしたりする好機だと言えます。ご支援をお願いします。
- ☆ 本年度の学校生活に関するアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。ただ今、集計しているところです。結果がまとまり次第、お知らせします。
- ☆ 7日以降、合唱や器楽演奏などができるようになるので、延期していた学習発表の録画に取りかかります。今月中には、YouTubeでの公開ができるように計画しています。